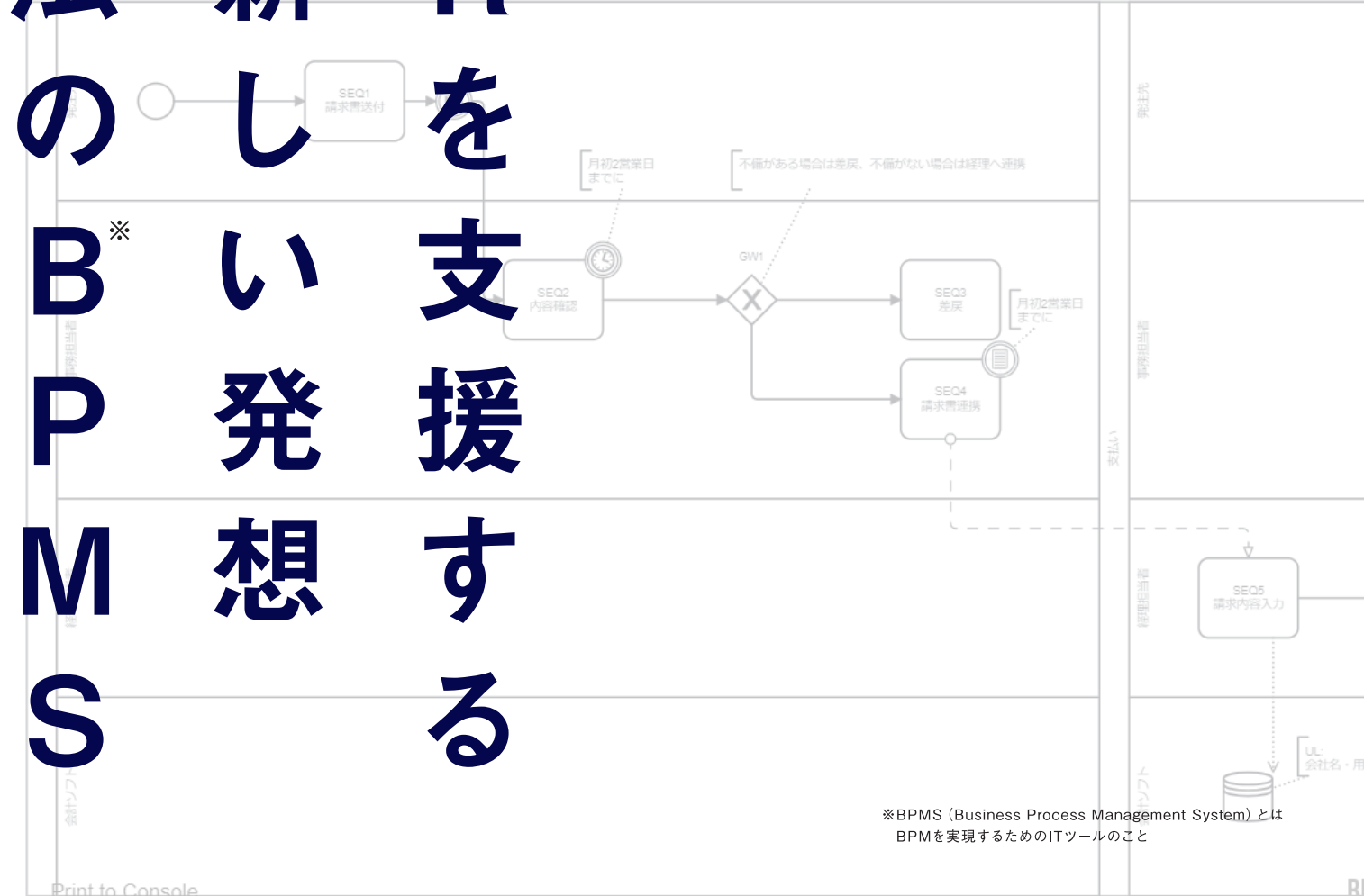




All Patent Service

BPM+

特許第7545132号／国際特願PCT/JP2024/18362



※BPMS (Business Process Management System) とは
BPMを実現するためのITツールのこと

主体的なBPRを支援する
今までにない新しい発想
新しい作成方法のBPMS



株式会社ドウエピオン

設立年月日 2020年6月1日

代表者 代表取締役社長 佐々木 忠晴

従業員数 30名 (2025年3月)

事業内容 BPR業務受託サービス事業
システム開発・販売事業
情報提供サービス事業
経営コンサルタント事業
経営診断事業
社員教育業務の受託事業

主要取引先 (50音順 敬称略)

株式会社エヌ・ティ・ティビー・シーコミュニケーションズ
NTT ファイナンス株式会社
株式会社ジェーシービー
株式会社タイトー
東京科学大学・産学共創機構
豊田通商株式会社
日本バイリーン株式会社
東日本電信電話株式会社
三菱電機デジタルイノベーション株式会社
他

ソリューションパートナー (国内・50音順 敬称略)

株式会社アイデアランプ
株式会社アットマーク・ソリューション
株式会社ウェブリカ
株式会社研文堂
株式会社テックビーンズ
ラモ・テクノロジー株式会社

(国外・アルファベット順)

Aevistrack Pte. Ltd.
CodLUCK Technology ,JSC

取引銀行 (50音順 敬称略)

興産信用金庫
みずほ銀行
三井住友銀行
三菱UFJ銀行

資格など

BPM+ : 特許第7545132号／国際特願PCT/JP2024/18362／登録商標第6300054号
BPUSS : 特許第6664760号
BPL+ : 特許第7248998号／登録商標第6803118号
BPRescue : 登録商標第6300054号

代表電話 03-5577-3855

電子メール epion@doepion.co.jp

住所 [本社]
〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町2-7-6 TK猿楽町ビル 3F
[芝公園オフィス]
〒105-0011 東京都港区芝公園1-2-6 ランドマーク芝公園ビル8階

URL https://doepion.co.jp/

サポートに関して

使い方の社員研修や、日々の活用サポート、必要に応じてコンサルティングも行います。
お気軽にお問い合わせください！

✉ epion@doepion.co.jp



コンサルティング会社が作った
BPM+ 開発のルーツ

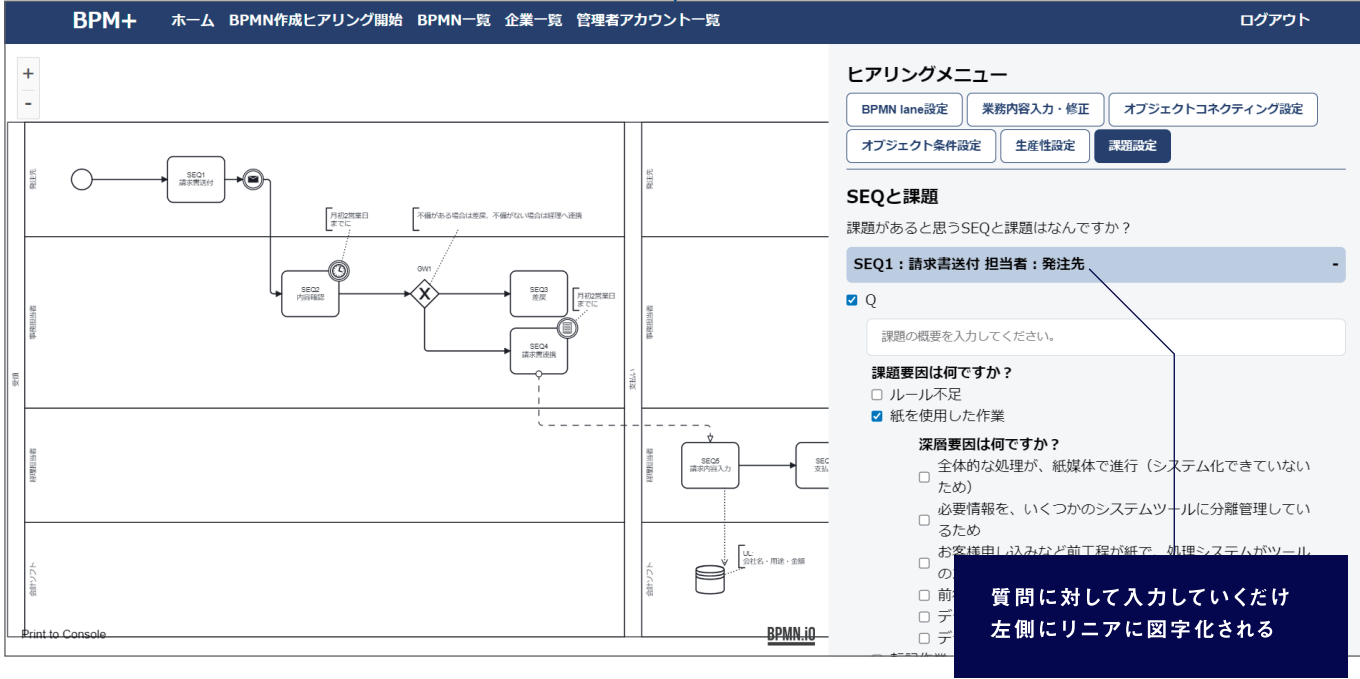
BPR 自走化を支援

「業務改善の起点は、現状把握からはじめること」
「実務を担当している、当事者が改善意識をもつこと」

改善起点となるBPMN*を実務担当者が作成し、自立的・主体的な意識をもつことが、BPRを自走化する第一歩であると考えました。

BPM+は、わたしたちの経験から導き出した、BPR推進の一つの解になります。

※BPMN：ビジネスプロセス・モデルと表記法 (Business Process Model and Notation)の略計画された業務プロセスの手順を最初から最後までモデル化するフローチャート手法のこと



質問に対して入力していくだけ
左側にリニアに図字化される

BPMをフレームワーク化！
こんな企業におすすめ

BPMN作成に
悩んでいる

これから
BPRを行う

例えば…

作成に時間がかかる

ルールや手順にバラツキがあり、
十人十色なBPMNになってしまう

一部の社員しか、
BPMNを作成できない

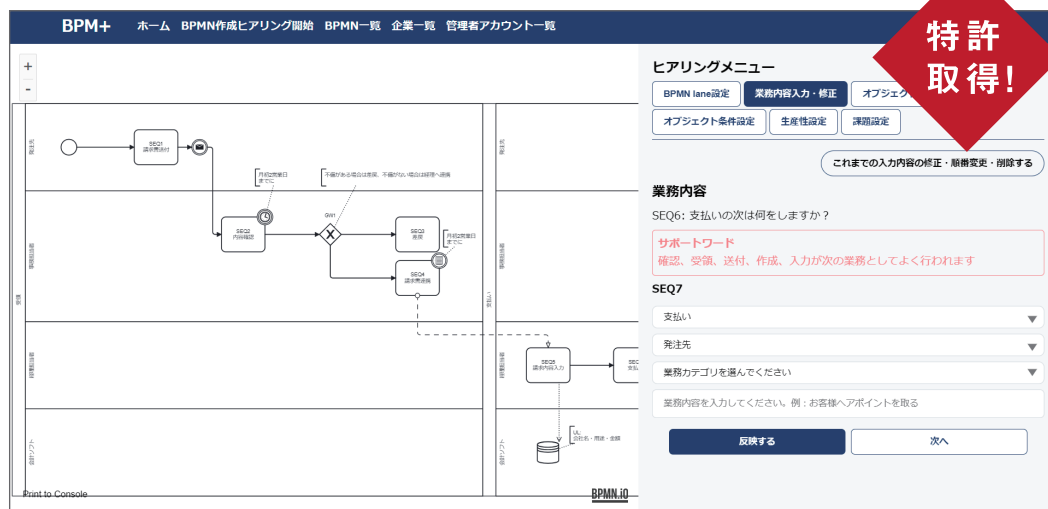
まずは現状把握したい

社内で主体的にBPR推進したい

研修や引継ぎに必要な情報が
個人の頭の中にある

そんな企業にはBPM+がぴったり！
ユニークな特長

01 知識や経験不要で、BPMN作成可能



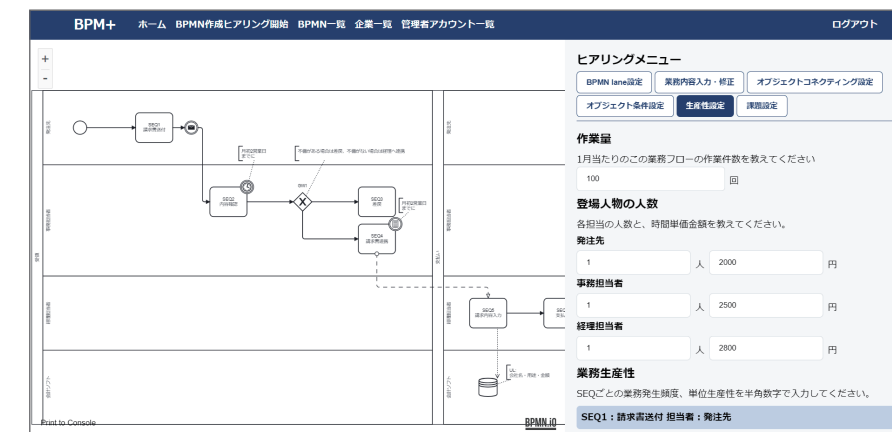
1. 質問に対して入力していくだけでリニアに図字化
2. リコメンドワード機能で迷わずサクサク進む
3. 表記ルールが統一化され、誰が作成してもばらつきが少ない
4. 実務を行っている者が作成することで、その後の改善が進みやすい

人とシステムのすみわけ
BPM+ 活用の範囲

まずは現状の見える化を、当事者である
実務社員が主体となって行いませんか？

※1…特許第7545132号／国際特願PCT/JP2024/18362
※2…SEQはSequenceの略 SEQ一覧は、役割・工数・稼働コストなど複数要素のマトリックス表(弊社独自)
※3…BPMNを取り込むだけで、対策立案までサポート可能な課題分析システム
※4…BPM+とExcelでの作成速度の比較(弊社のコンサルタントが実際に作成)

02 フローを数値データ化することで、
具体的な分析・改善立案



1. 質問に回答するだけで、作成が面倒なSEQ一覧※2を自動生成
2. 役割分担や作業別工数をデータ化し、CSVでアウトプット
3. 効果想定や積算に活用することで、より具体的な対策案の選定が可能
4. BPL+※3へのデータ移行もスムーズ

03 作成時間80%減※4 圧倒的な速さ



1. 作成に係る稼働削減により、BPRの推進がよりスムーズに
2. 誰でも簡単操作で作成できるから、高い可用性

